

時代初期の芸術家で「琳派」と呼ばれる美術様式の始祖とされる本阿弥光悦が、徳川家康から京都・鷹峯（たかがみね）の土地を拝領し、「光悦村」と呼ばれる芸術村を開いてから今年で400年となることを記念した作品展。京都デザイン協会などが主催し、協会員のデザイナーが思い思いに琳派をイメージした布製のタペストリー作品（縦2メートル50センチ、横45センチ）など28点。3月に京都で展示され、協会理事で秋田公立美術大の官能右泰教授が秋田での巡回展を企画した。10～20時（24日は15時まで）。入場無料。秋田公立美術大・官能研究室 ☎018・8888・8135

究の成果として制作した作品80点を展示。10～17時。両日とも11時からミニコンサートを開催。入場無料。竹青華道会 ☎018・862・4584

【琳派に遊ぶ展】 24

日まで、秋田市中通2の秋田公立美術大サテライトセンター。江戸